

I. 広東省

1. 第1四半期の経済動向分析会議の開催

●17日午前、胡春華・省党書記主宰の上記会議が開催され、習近平・総書記が広東省に対して出した重要指示（4つの堅持、3つの支え、2つの率先）によって人々を統率し、安定の中で経済成長を求めるという全体的な基調を堅持し、本年の経済関連業務を全力でしっかりと行うよう強調。馬興瑞・省長、李玉妹・省人代主任、王栄・省政協主席、任学鋒・広州市党書記、林少春・常務副省長等も出席（4月18日付『南方日報』）。

●21日、省統計局が発表したデータによれば、広東省の第1四半期のGDP総額は1.94兆元（前年同期比7.8%増）、中国全体のGDP総額の10.8%を占めた。また、同省のGDP成長率に対するサービス業の寄与率は62.5%に達し、1人あたりの可処分所得は9,190元（同8.8%増）だった（4月22日付『南方日報』）。

●21日、林少春・常務副省長主宰の全省第1四半期経済動向分析会議が開催され、馬興瑞・省長が出席するとともに講話を行なった。今期の一定規模以上工業付加価値額の伸び率は前年同期比7.1%増で2016年2月以来最高の伸びとなり、一般公共予算収入の伸び率も同16%増で全国平均を4.3ポイント上回り、投資（同12.5%増）、消費（同10.5%増）、貿易（同14.8%増）も総じて昨年の伸び率を上回り、広東省の経済発展は幸先の良いスタートを切った（4月22日付『南方日報』）。

2. 胡春華・省党書記、馬興瑞・省長が「国家安全教育デー」のイベントに参加

●17日、胡春華・省党書記、馬興瑞・省長が上記イベントに出席し、省公安厅による国の安全を守ることをテーマとした展覧会を見学。李春生・副省長兼公安庁長等も参加（4月18日付『南方日報』）。

3. 王栄・省政協主席が全国政協視察チームと会談

●16日、葉小文・全国政協文化・歴史・学習委員会副主任率いる視察チームが広東省を訪れ、「海のシルクロード文化財の保護と利用」をテーマに調査・研究を実施した。17日午後、王栄・省政協主席が一行と会談。一行は広州市の広東税関博物館、十三行博物館、黄埔地区の古い港や村などを視察し、18日～20日にかけて汕頭市、潮州市で調査を行なった（4月18日付『南方日報』）。

4. 広東省で習近平・総書記の重要指示の精神を学習・貫徹

●18日、省党委員会は全省の市・庁レベルの主な幹部が習近平・総書記の広東省に対する重要指示の精神を学習・貫徹することを目的とした特別研修を開始し、胡春華・省党書記が出席するとともに講話を行い、次のように強調した。上記重要講話の精神を真剣に学習・宣伝・貫徹し、「4つの堅持、3つの支え、2つの率先」によって業務全体を統率し、新たなスタート地点に立ち、更に新たな局面を作り出していくよう努力しなければならない。馬興瑞・省長、李玉妹・省人代主任、王栄・省政協主席も出席（4月19日付『南方日報』）。

●19日午前、胡春華・省党書記主宰の省党指導グループによる改革の全面深化に関する第25回会議が開催され、習近平・総書記の広東省に対する重要指示の精神と習近平・総書記が中央指導グループによる改革の全面深化に関する第33回、第34回会議で述べた重要講話の精神を伝達・学習した。会議では改革関連の文書について審議し、各プロジェクトのグループと関連部門の責任者から進捗状況について聴取（4月20日付『南方日報』）。

●21日午前、胡春華・省党書記主宰の省党常務委員会会議が開催され、中央弁公庁が配布した中央組織部による2016年「両学一做」学習教育の総括報告、中央で開かれた「両学一做」の学習・教育の常態化・制度化に向けての推進業務座談会の精神を伝達・学習し、その実施案を審議し、原則採択すると共に、習近平・総書記の広東省に対する重要指示の精神を深く学習・貫徹することをもって、「両学一做」学習教育の常態化・制度化を動かしていくよう強調（4月22日付『南方日報』）。

5. 2017中国（広東）・米国投資協力交流会の開催

●20日、広州市で上記交流会が開催され、米中両国の政府要人、世界トップ500にランクインしている米国企業や各業界のリーディング・カンパニー50社余り、広東省の有名企業約150社が参加。同交流会は省政府と全米商工会が共同で開催し、省商務庁、省政府外事弁公室が運営した。広東省は米国にとって中国最大の貿易パートナーであり、2016年の同省と米国の貿易総額は約1,182億米ドルで、米中貿易全体の22.8%を占めた（4月20

日付『南方日報』)。

●20日、胡春華・省党書記、馬興瑞・省長が上記交流会のメイン大会に出席するとともに、来賓代表と会談した。同交流会ではプロジェクトの署名式も行われ、15のプロジェクト(総額22.89億米ドル)が署名された。また、メイン大会終了後、省政府とウォルマート(中国)投資有限公司が戦略的協力了解覚書の署名式を行なった。任学鋒・広州市党書記、袁宝成・副省長等も関連イベントに出席(4月21日付『南方日報』)。

●20日午前、馬興瑞・省長が米国リーディング・カンパニー各社のCEOとの円卓会議を主宰し、上記交流会に出席した米国の企業家と一対一の意見交換を行い、広東省で事業を展開する米国企業の発展状況に対する理解を深め、省政府のサービスやビジネス環境の更なる最適化に対する意見・提案を聴取した。米国の企業家たちはイノベーション協力、知的財産権の保護、ビジネス環境の最適化、食品・薬品の安全性、サプライチェーン協力、金融協力等の分野に関し、多くの具体的な問題と提案を出した。俞建華・商務部副部長兼国際貿易交渉副代表も同席(4月21日付『南方日報』)。

6. 馬興瑞・省長が梁振英・香港行政長官一行と意見交換

●19日午後、馬興瑞・省長が広州市で梁振英・香港行政長官一行と広東・香港・マカオ・ベイエリア建設計画について意見交換を行い、次のように述べた。広東省、香港、マカオの3地域が緊密に協力し、それぞれの強みを発揮することで発展を差異化し、共に重要なインフラ建設、科学技術イノベーション協力、「一帯一路」建設、良好なエコ環境構築等の重点業務にしっかりと取り組み、共に手を携えて市場化・国際化・法治化されたビジネス環境を作り出し、ヒト・モノ・カネのリンクを最大限促進し、世界レベルのベイエリアを建設すべく努力していきたい(4月20日付『南方日報』)。

7. 慎海雄・省宣伝部長がベトナム共産党機関紙「人民報」代表団と会談

●19日、上記会談で慎海雄・省宣伝部長は広東省がメディアやインターネットに力を入れている省であると述べ、ベトナムのマスコミと相互に交流し、経験を参照し合い、世論のメインストリームを更に強固なものにしていきたいと伝えた(4月20日付『南方日報』)。

8. 胡春華・省党書記が秦宜智・共青団中央書記処第一書記と会談

●20日午後、胡春華・省党書記が広州市を視察に訪れた秦宜智・共青団中央書記処第一書記一行と会談し、省党委員会・省政府を代表し、共青団中央の広東共青団に対するサポートに感謝の意を表するとともに、次のように強調した。全省各レベルの共青団組織は習近平・総書記の広東省に対する重要指示の精神を深く学習・貫徹し、各改革任務にしっかりと取り組み、青年に対して思想・政治を導き、その発展に奉仕するといった役割を適切に発揮していかなければならないと強調した(4月21日付『広州日報』)。

9. 2017年中国加工貿易製品博覧会(加博会)が開幕

●20日午前、東莞市で上記博覧会が開幕し、王栄・省政協主席、鄔賀銓・中国工程院院士等、国内外から1000人以上の来賓が開幕式に出席(4月21日付『南方日報』)。

●21日午前、本年の加博会では、新疆生産建設兵団が加工貿易請負の新たな移転先としてビジネス・マッチングが行われ、5つの加工貿易プロジェクトが署名された(投資額は14億元以上)ほか、内モンゴル自治区、甘肅省、韶関市等も同様のビジネス・マッチングを行なった(4月22日付『南方日報』)。

10. 陳雲賢・省政府党組織メンバー一行が中国人民銀行、中国証券監督管理委員会を訪問

●20日~21日、陳雲賢・省政府党組織メンバー(元副省長、金融担当)一行が中国人民銀行、中国証券監督管理委員会(中国証監会)を訪れ、範一飛・中国人民銀行副頭取、方星海・中国証監会副主席とそれぞれ意見交換を行い、広東自貿区前海エリアの深圳・香港現代サービス業協力区における深圳市と香港の金融協力について話し合った(4月22日付『南方日報』)。

II. 広州市

1. 人事異動

● 17日午前、南沙区指導幹部大会で蔡朝林・副市長が南沙区党書記に就任（4月18日付『南方日報』）。

2. 広州市と香港・マカオ・台湾の協力

● 17日、楊衍銀・全国政協香港・マカオ・台湾華僑事務委員会副主任一行が広州市を訪れ、「香港・マカオと中国大陸の観光協力を深めること」について調査・研究を行い、任学鋒・市党書記が一行と意見交換を行なった（4月18日付『広州日報』）。

● 19日、任学鋒・市党書記、温国輝・市長が、広東・香港・マカオ・ベイエリアの都市間協力に関する視察のため広州市を訪れた梁振英・香港行政長官一行と懇談を行なった。梁長官は同市の経済・社会発展が成功していることを称賛し、次のように述べた。「一帯一路」と同ベイエリアの建設は、香港と広州の交流・協力水準を高め、新たなチャンスを作り出し、新たなプラットフォームを提供し、新たな原動力を注入している。両地域はいずれも「一帯一路」の重要な拠点となる都市かつ同ベイエリア都市圏の中心都市であり、香港は国際化・市場化が高度に進んでいるという強みを発揮し、企業の「海外進出」、インフラ建設、専門的なサービスの向上といった分野で広州市とのマッチング・協力を強化し、同ベイエリア都市圏の協調的な発展を共にリードし、互いの強みを補い合い、ウィンウィンを実現していく（4月20日付『広州日報』）。

3. 広州市の金融業関連動向

● 18日午後、広州市に国新中央企業運営（広州）投資基金が設立され、温国輝・市長、劉東生・中国国新ホールディングス有限責任公司董事長、謝偉・上海浦東発展銀行株式有限公司副頭取が設立大会に出席するとともに、挨拶を行なった。葉牛平・市政府秘書長が主宰。中国国新、浦発銀行、広州基金が共同で設立した同基金の総資産は1500億元で、とりあえず500億元集め、有限パートナーシップを取る（4月19日付『広州日報』）。

● 18日、南沙区で「2017広州市金融業プロモーション」が開催され、陳平・市金融業務局副巡視員が次のように紹介した。近年、広州市の金融業の発展は目覚ましく、2011年～2016年、金融業の付加価値額の伸び率は133%増で、北京市（108%増）、上海市（113%増）、深圳市（84%増）等「一線都市（大都市）」の先頭を走っている。特に2016年は直接融資、保険業、新三板（店頭市場）等において高い成長率を維持した（4月19日付『広州日報』）。

4. 広州市の第1四半期の貿易は好調なスタート

● 18日、市商務委員会は第1四半期の広州市の貿易状況を発表し、貿易総額は約2,428億元（前年同期比31.9%増）で、その伸び率は中国全体の21.8%増、広東省の15.4%増を上回る好調なスタートを切った。うち、輸出額は約1,486億元（同31%増）、輸入額は約942億元（同33.2%増）（4月19日付『南方日報』）。

5. 秦宜智・共青团中央書記処第一書記が広州市を視察

● 21日、任学鋒・市党書記、温国輝・市長が広州市を視察に訪れた秦宜智・共青团中央書記処第一書記一行と懇談を行なった。秦第一書記は同市の経済・社会発展を十分に肯定し、広州共青团が改革を深め、青年のイノベーション・起業に奉仕し、広州・香港・マカオの青少年の交流を促進し、同共青团の建設を強化している実務的な取組みを高く評価し、同市が強みを発揮し、大胆に探り、引き続き共青团工作を推進し、全国の先頭を歩んでほしいと述べた。池志雄・共青团省書記等も関連活動に参加（4月22日付『広州日報』）。

6. 市政府と中国鉄道建設（中国鉄建）が戦略的提携

● 21日午前、市政府と中国鉄建株式有限公司が戦略的協力協定に署名した。温国輝・市長と孟鳳朝・中国鉄建董事長が懇談を行うとともに、署名に立ち会った。双方はインフラ投資・建設、軌道交通市場の開拓、南沙新区の総合開発、企業のヘッドクォーター建設、金融・株式での協力、「一帯一路」建設における「海外進出」等の分野で重点的に協力を拡大していくことで合意した（4月22日付『広州日報』）。

Ⅲ. 深圳市

1. スウェーデンに漢方医薬研究拠点が設立

●「ノーベル医学・生理学賞発祥の地」として評価されているスウェーデンのカロリンスカ大学がウプサラ大学、省漢方病院、省漢方医薬科学院と協力し、スウェーデンに漢方医薬研究の拠点を設立し、康美薬業が関連する学術研究に資金援助を行うこととなった。17日～18日、于文明・国家漢方医薬管理局副局長が深圳市でカロリンスカ大学、ウプサラ大学の教授と会談するとともに、康美薬業と省漢方病院を見学・視察した（4月19日付『深圳特区報』）。

2. 王偉中・市党書記が李建紅・招商局集團董事長一行と会談

●19日、上記会談で双方は、習近平・総書記の一連の重要講話の精神・政治運営の新理念・新思想・新戦略、特に広東省に対する重要指示の精神を真剣に学習・貫徹し、広東自貿区前海・蛇口エリア、金融、港湾等の分野における協力をいっそう強化し、国と省の発展に更に大きな貢献をしていくことで合意した（4月20日付『深圳特区報』）。

3. 王偉中・市党書記が秦宜智・共青团中央書記処第一書記と会談

●20日、王偉中・市党書記が秦宜智・共青团中央書記処第一書記と会談した。秦第一書記は共青团が改革を深めることに取り組み、厳格な統治を進め、中長期的な青年の育成計画を実施している状況について紹介するとともに、深圳市は大胆に探り、果敢に刷新し、共青团工作をしっかりと行うために、更に多くのコピーが可能で普及可能な経験を作り出してほしいと述べた（4月21日付『深圳特区報』）。

4. 2017中国（深圳）・カナダ（オンタリオ）イノベーション・国際協力フォーラムの開催

●20日、上記フォーラムが開催され、カナダから金融、科学技術、教育等の分野における数十人の代表が訪れ、深圳市の関連企業と技術協力、研究成果の実用化等について意見交換を行なった。林潔・市統一戦線部長が出席するとともに、挨拶を行なった（4月21日付『深圳特区報』）。

5. 王偉中・市党書記が芮曉武・中国電子情報産業集團董事長一行と会談

●21日午後、上記会談で、双方はそれぞれの強みを十分に発揮し、基礎研究、核心となる技術、重要プロジェクト等の分野における協力を更に深め、共に手を携えて国際科学技術・産業イノベーションセンターの建設を急ぎ、深圳市が新たなスタート地点に立ち、新たな局面を作り出し、「4つの堅持、3つの支え、2つの率先」の先兵になるよう推進していくことで合意した（4月22日付『深圳特区報』）。

6. 第1回深圳デザイン・ウィークが開幕

●21日、市政府主催、市デザイン都市普及促進弁公室、市対外文化交流協会共催の上記イベントが開幕した。これは「深圳文化イノベーション発展2020（実施案）」の重点プロジェクトを実施するものであり、米国、フランス、イタリア等10数か国・地域から200人のデザイナーが出展し、作品数は2000点を超えると同時に、「深圳グローバルデザイン大賞」を設けた。デビッド・グロスマン国際デザイン理事会理事、世界デザイン機構理事、英国公認デザイナー協会CEO、フランスの世界レベルの建築デザイナー、李小甘・市宣伝部長、呉以環・副市長等が開幕式に出席（4月22日付『深圳特区報』）。